

保健福祉企画総務課長 様

イオンモール株式会社

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の  
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、平成26年8月1日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	イオンモール岡山敷地外開発工事 (下石井1丁目横断歩道橋設置工事)	
委員からの意見	委員の意見に対する回答	
① 東、西の階段、エスカレーターは岡山駅(北側)、市役所(南側)どちらからでも上がることが出来るのか。  ② エレベーターは、通り抜けタイプの仕様か。  ③ 誘導ブロックは、既存の歩道に設置している誘導ブロックから分岐させて、階段、エレベーター、エスカレーターの各上り口へ向け、設置するのか。	① 東、西とも岡山駅(北側)からの一方向のみとなります。 また、横断歩道橋への上り口の音声案内は、現状考えていません。エスカレーターの誘導手摺、階段の上り口の手摺には点字案内を設ける予定です。  ② 通り抜けタイプではありません。15人乗り(カゴサイズ:1600mm×1500mm)の出入口1ヶ所のタイプです。 なお、防犯面から、カゴ・エレベーターシャフトに窓を設け、外部からカゴ内部が見える仕様としています。  ③ イオン側(西側)・・・ エレベーターについては、歩道から分岐して操作盤まで誘導ブロック敷設します。階段・エスカレーターについては、建物敷地内のため建築基準法とバリアフリー法に基づき検証しており、各上り口の注意喚起	

<p>④ エレベーター、エスカレーターとも24時間稼働するのか。</p> <p>⑤ 2階はイオンモール岡山と直接行き来出来るのか。</p> <p>⑥ 各照明は明るいものとしてもらいたい。</p> <p>⑦ 2階のイオンモール岡山との接続部分はガードパイプを設置しないのか。視覚障害者の方が誤って入ってしまう、あるいは、警備が作動することはないか。</p> <p>⑧ 階段に手摺が設置されていない様に思うが。</p> <p>⑨ 歩道の通行量は予測された上での通路幅となっているのか。 また、車いす含め、不特定多数の方が通行することも含めた検討となっているのか。</p> <p>⑩ 西口の横断歩道橋も同様に屋根を設置していただいているが、視覚障害者は自分がどの位置を歩いているか分からないため、端を通行した際に、吹き込みにより濡れてしまうことがある。強風時は仕方ないかと思</p>	<p>ブロックの敷設のみとしています。 ビブレ側(東側)・・・ 各上り口まで全て、歩道から誘導ブロックを分岐させて敷設します。</p> <p>④ すべて24時間利用可能です。 なお、イオンモール岡山の営業時間外は、ガードパイプ等で歩道橋利用に必要なエリアとそれ以外のイオンモール岡山敷地内の外構エリアを区画します。 また、エスカレーターについては、センサー感知式としています。</p> <p>⑤ 建物の2階部分と歩道橋は直接接続しているため、出入りは可能です。</p> <p>⑥ 歩道橋は屋根付きですが、夜間も200ルクス程度の照度を確保する計画としています。</p> <p>⑦ 視覚障害の方への行き先案内は、手摺に点字表示の設置を検討します。また、風除室のガラス面にはセーフティラインサインを設置し、衝突防止を図ります。</p> <p>⑧ 手摺は設置しています。 床から1100mm、800mm、650mmの3段手摺としている。</p> <p>⑨ 設計時、岡山市様との協議の中で開業後の歩行者通行量を予測し、必要な通路幅を決定しています。 算定基準により、車いす用幅員(1m×2) + 歩行者用通行幅員(2m) = 4mとしています。</p> <p>⑩ 床から天井まで約3000mmで計画していますが、床から約1800mmまではガラス高欄を設けています。駅西口の横断歩道橋に較べて側面はかなり塞がれている状態となりますが、強風時にはどうしても雨の吹込み</p>
--	---

うが、よい方法はないか。

⑪ 施設を安全に利用してもらおうと考える場合、障害者、高齢者、子育て中の方にとっては、イオンモール岡山はとても広い。その方々が、施設を利用しようとした際に、安全なところでないと行きたくないし、行く勇気が出ないので、その辺りを配慮した計画、運営を是非、お願いしたい。

⑫ 床の仕上げは滑りにくい素材となっているか。

⑬ ビブレA館へのアクセスはどのようになるのか。

⑭ 誘導ブロックは黄色を採用してもらいたい。弱視の場合、白色では反射して認識出来ない。やはり、黄色が一番認識しやすい。全盲の場合、盲導犬は黄色の誘導ブロックで訓練しているため、黄色に近い色でないと、認識しない可能性がある。誘導ブロックがなぜ出来たか、誰の為にあるのか、なぜ黄色なのかということを是非考えてもらいたい。  
また、床材とのコントラスト差も重要なので、合わせて検討してもらいたい。

⑮ エスカレーターは上りだけであるが、一般的にエレベーターは事故も多く、注意が必要である。  
エレベーターもあるので、エスカレーター

は避けられないと思われます。

ただし、ガラス高欄の内側にはバリアフリー用の手摺を別に設けており、500mm程度の軒の出寸法を確保していますので、ある程度の雨掛りは防げるものと考えています。

⑪ 了解しました。運営上も配慮していきます。

⑫ 階段、横断歩道通路部分の床材はすべて、西口の横断歩道橋のスロープ部分で採用しているような表面に凹凸のある歩行用のノンスリップタイプで滑りにくいものと考えています。

⑬ ビブレA館については、閉館した状態のままですので、現計画では歩道橋からの直接の出入りはありません。

⑭ 了解しました。  
注意喚起ブロック、誘導ブロックは黄色で整備します。

⑮ まず、ビブレ側(西側)はスペースの関係で物理的に「上り」しか設置できません。  
また、当初は階段とエレベーターのみで計画していましたが、行政・近隣様のご意

が上りしかないのであれば、エスカレーターを無くして、階段の幅を広げたほうが安全性をより確保できると思うが、どうお考えか。

右記3点セットはユニバーサルデザイン上、非常に魅力的だが、あくまでも上り下りのエスカレーターがあって話なので、逆に安全面が気になる。この様な意見があったことだけ認識頂きたい。

見・ご要望もあり、上りエスカレーターも含めた3点セットを設置するようになりました。

左記、承りました。